



刈谷南中学校新聞

第415号 令和6年2月2日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

校長 葉山靖彦

「笑顔」の連鎖 ～人の心を感じるとき～

「おはようございます！」

寒い冬の朝。登校時間に校門に向かっていた私に、ある生徒があいさつをしてくれました。距離は少し離れていましたが、とてもさわやかな気持ちのよいあいさつでした。その声に「おはようございます」と返した私の顔は、笑顔になっていたように思います。そして、その一言が、寒さに少し萎えそうになっていた私に元気をくれました。そのまま校門に立った私は、いつもより明るく、笑顔であいさつができた気がしました。すると、登校してくる生徒にも笑顔が多く、あいさつも一段とさわやかになっているように感じました。ひとしきりあいさつを交わした後、職員室に帰る私の心は、とても清々しい気持ちになっていました。たった一人の生徒のあいさつが、私を始め、たくさんの人を笑顔にしてくれました。



笑顔あふれる「あいさつ運動」

人からかけられる温かい言葉には、相手や周りの人たちを幸せな気持ちにさせる力があるのだと思います。気持ちのこもったあいさつ、「ありがとう」と感謝の言葉、「大丈夫？」と相手をいたわる気持ち、等々……。こうした人の心を感じる言葉が交わされるとき、そこには自然に笑顔もたくさん生まれてきます。

すでに2月に入りました。3年生の皆さんは「卒業」、1・2年生も学年末そして「進級」。これまで一緒に過ごしてきた仲間や先輩、家族、先生方と心が通い合い、笑顔で過ごせる時間がたくさんできることを願っています。

3年生のサクラ咲け！

いよいよ受験シーズンがやってきました。一人一人が決めた自分の志望校に向けて、面接の練習が始まりました。志望の動機、中学校3年間でがんばったこと、将来の夢など面接練習を通して、自己を振り返り、自身と対話しています。緊張してうまく言葉が出なくても、一生懸命に伝えようとする姿からは、その人の人柄が感じられます。真剣な表情で面接練習をする仲間に対して、周りからは自然と温かい拍手が送られていました。

また、第3回学校運営協議会が1月26日（金）に行われ、委員の方々に公立高校学校推薦選抜受検者の宣誓式を見学していただきました。推薦生は、3年間の学校生活での実績を自信に変え、校長先生の激励の言葉を胸に刻み、受検に向かっていきます。



科学部石田科学賞受賞～理科研究発表会より

1月20日（土）に刈谷市総合文化センターで第67回刈谷市児童生徒理科研究発表会が行われました。科学部から2つの班が参加し、これまでに追究してきた研究について、自作のスライドを使って堂々と発表しました。「割り箸をきれいに割る研究」班が石田科学賞、「毛玉の取り方研究」班が北野記念賞を受賞しました。石田科学賞を受賞した代表の櫻井さんと今泉さんは「最高の賞をいただけて光栄です」と受賞の喜びを話してくれました。日々の科学部の活動が実を結ぶ形となりました。



ダメ！ゼッタイ！！を合い言葉に

1月12日（金）に1年生が薬物乱用防止教室に参加し、薬物乱用防止への理解を深めました。8組の溝口聖也さんは「薬物を使うと犯罪をする可能性があることに驚きました。薬物を手に入れるために強盗をするほど薬物はその人の人格まで変えてしまうことを知り、薬物は怖いなと思いました。一方で、薬物に手を出さないようにするために、健康的な生活を送ることの大切さも学びました。薬物に手を出す原因の一つがストレスだそうです。なので、僕はストレスをためないために、友達と笑顔で過ごしたり、悩み事は親や先生などに相談しようと思いました」と感想を話してくれました。最後に、1年生全員で「ダメ！ゼッタイ」のポーズをして薬物に手を出さない誓いを立てました。



僕たち私たちにできることは

1月1日、新年が明けたとたんに衝撃的な災害が起きました。新学期が無事に迎えられ、久しぶりに会う友達や先生と笑顔で挨拶を交わすことがこんなにも尊いことなのかと思知らされました。刈谷の6中学校の生徒会で、急遽オンライン会議が行われ、それぞれの学校の支援の取り組みについて話し合われました。刈南中の生徒会役員も、話し合いを重ね、募金活動を行うことを全校生徒に呼びかけたところ、JRC委員会も賛同し協力して取り組むことになりました。朝早くから多くの生徒や先生が募金に協力する姿が見られました。今回の地震で被害に遭われた方々にこの気持ちが届くことを願います。



刈南中生になる新入生のために

1月30日（火）に入学説明会を行いました。住吉小、衣浦小、亀城小の3つの小学校から来年度刈南中へ入学する6年生とその保護者に「かりなんナビ」が手渡されました。年々入学者数が増えて、来年度の新1年生は260名程となっています。新しい学校生活に喜びと不安が入り交じった6年生へ刈南中の紹介をするために、有志の生徒が集まってくれました。刈南中の先輩として、不安のないようにと丁寧に分かりやすく文章を考え、これからの刈南中を創り上げる後輩たちへ思いや期待を込めて、話をしてくれました。中学3年生と6年生と一緒に生活することはありませんが、刈南中のバトンを繋いでもらいたいという熱い思いを感じる説明会でした。



ソニー子ども科学教育プログラム最優秀賞受賞

1月27日（土）本校の教育活動をまとめた論文が全国で最優秀賞を受賞しました（全国1位）。理科教育を始め、学校の教育活動全般で取り組んでいる生徒の主体性や「共創」をテーマとした取組について、東京で行われた表彰式で研究内容の発表も行いました。この受賞を受け、来年度の10月に本校で全国大会を行い、全国から大勢の参観者を招いて、授業の様子などを見ていただくことになりました。全国の先生方に、刈谷南中生の姿や授業を見ていただける機会をもらえてありがたいと思います。この受賞を励みに、これからも日々の授業や教育活動に一生懸命に取り組み、生徒と教職員が「共創」していく学校にしていきたいと思います。

